
岡崎市地域電力小売事業に係る事業パートナー公募型プロポーザル
サウンディング型市場調査 結果概要

岡 崎 市

令和元年6月4日

1 サウンディング型市場調査の実施概要

(1) 参加申込受付期間

平成31年4月17日(水)～4月24日(水)

(2) 実施期間

令和元年5月8日(水)、9日(木)、10日(金)の3日間

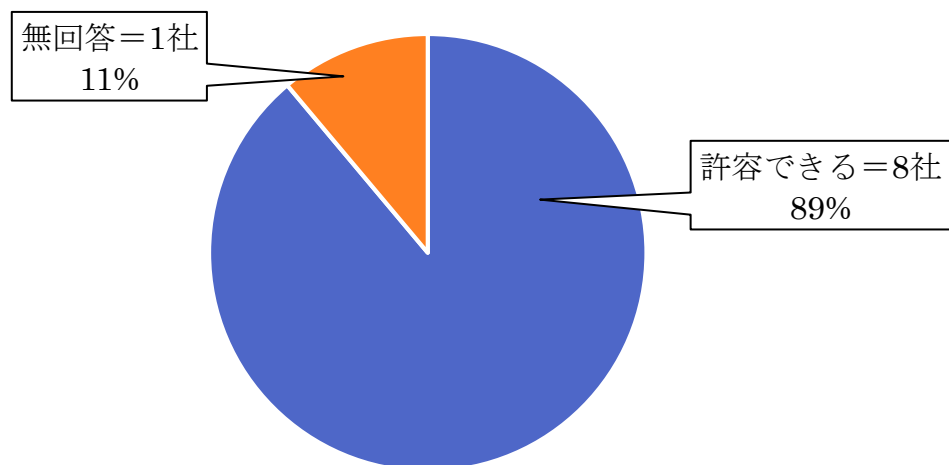
(3) 参加事業者数

調査には8組、9社の民間事業者の参加があった。

2 サウンディング型市場調査における主な意見

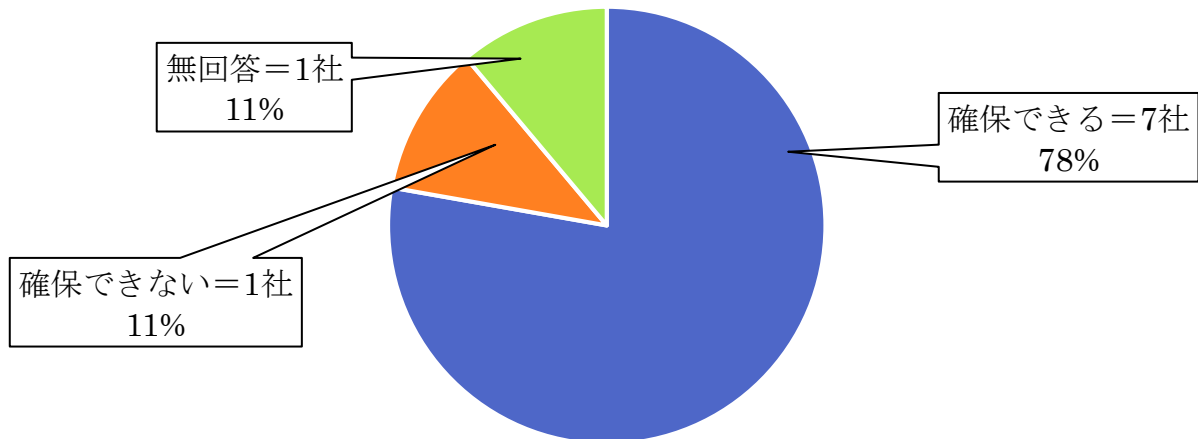
(1) 市からの共通の質問事項に対するご意見

① 事業利益について、「株主への配当には充てないこと」としているが許容できるか。

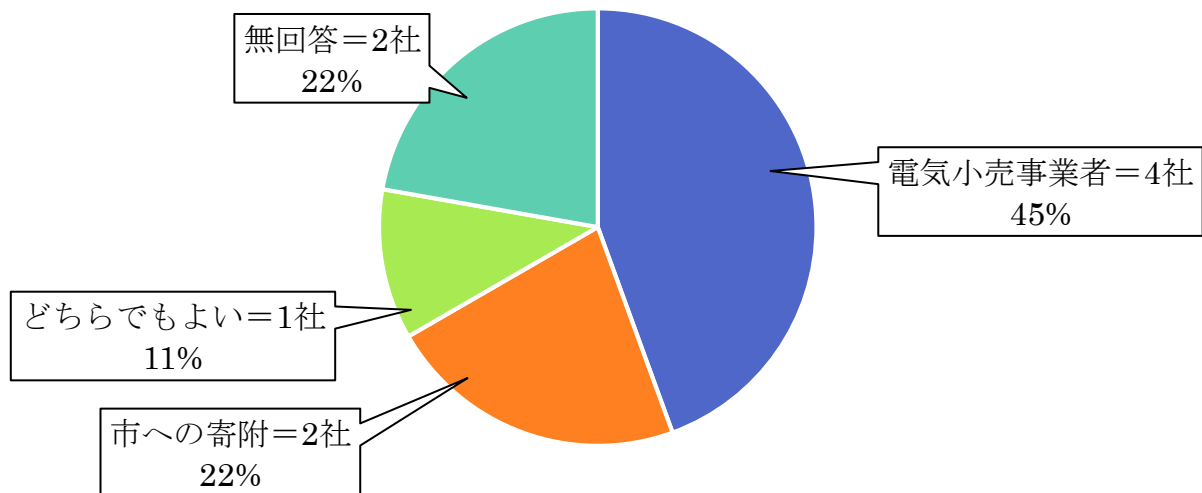


- ・ 他市の地域電力小売事業においても同様の方針を取っており、あくまで地域貢献を目的としている。
- ・ 地域電力小売事業の中で民間が利益を得られるスキームであれば問題ない。

② 本プロポーザルの実施スケジュールは、適切な検討期間を確保できるものとなっているか。



③ 事業利益の活用について、市への寄附か地域電力小売事業者での活用、どちらが適しているか。



- ・ 参画者事業者のメリットを残しておくために、地域電力小売事業者で利益を活用するほうがよい。
- ・ 寄附として利益が市に流れると、民間として努力するインセンティブが生まれにくい。
- ・ 寄附の方が良い。市が寄附金をもとに再エネ施設を建設することもありだと思ふ。

(2) その他の民間事業者からの提案・意見・要望等

① 新会社の方向性について

- ・ 募集の目的の1つとして、エネルギーの地産地消をあげられているが、どの範囲までを地産地消と指し示すのか明らかにしたほうが良い。

② 事業者の選定について

- ・ 優先交渉権者として採択された民間事業者が何らかの理由で辞退した場合、優先交渉権者は次点の民間事業者に譲ることになることを募集要項等に明記して欲しい。

③ 事業計画について

- ・ 事業計画に必要となる、電力供給先の施設ごとの現在の電力料金の単価や電力使用量といった情報を提供いただきたい。

④ 電力の調達・供給について

- ・ 市と地域電力小売事業者との間で、電力購入の契約に関する協定書があることが望ましい。一定期間（10年程度）で電力購入の契約を締結する、外部環境や調達価格等に応じて電力購入（販売）価格を見直すといった条項を盛り込んだほうが良い。

⑤ 事業のモニタリングについて

- ・ 取締役会を設置する場合、最低でも3ヶ月に1度は開催することになるため、事業の機動力が落ちる懸念がある。モニタリング機能を株主総会で代替ではないか。

⑥ 実施体制について

- ・ 構成企業が他応募者と重複することを禁止する場合、応募者間で金融機関を取り合う形となる。プロポーザルでパートナー事業者が決定後、金融機関に参画いただくほうが良い。

⑥ 新会社の設立について

- ・ 募集要項案に記載されている“会社設立”の定義について、登記ならびに小売事業ライセンスの登録申請完了時点など明確にしたほうが良い。